

## 名手訪問



## 犬丸 直 (いぬまる ただし)

対談 犬丸 直 (日本芸術院長)  
西川扇藏 ((財)日本舞踊振興財団・理事長)  
平成16年5月6日(木)【敬称略】

### プロフィール

大正12年 愛知県生まれ  
昭和23年 東京大学法学部卒業  
同年 文部省(現文部科学省)入省  
昭和52年 文化庁長官  
昭和55年 国立劇場(現日本芸術文化振興会)理事長  
昭和56年 武蔵野美術大学顧問(現)  
昭和61年 東京国立近代美術館長  
平成元年 横浜創英短期大学長  
同年 (財)ユネスコ・アジア文化センター理事長  
平成2年 日本芸術院長(現)  
平成7年 (社)日本舞踊協会会長(現)  
平成15年 勲二等旭日重光章受章

←左:西川理事長、右:犬丸院長

西川 ゴールデンウィークが明けて早々、院長にはまたご多忙の日々が待っていらっしゃるのに、今日はお付き合い賜りまして恐縮いたしております。

犬丸 それはお互い様です。連休中先日の井上愛子さんのご葬儀ではご一緒でしたね。

西川 井上先生は日本舞踊界のみならず、日本の文化という大きな観点から捉えましても、一大功労者の方ですから盛大で厳かなお別れの儀でございました。

犬丸 天候も穏やかでようございました。亡くなられたのは残念ではございますが、後継でお孫さんの現八千代さんが立派に仕切っておられて、ご安心なさって往生されたと思っております。

西川 ところで院長はいろいろな肩書きをお持ちでいらっしゃいますが、なかでも社団法人日本舞踊協会の会長として永年我々はお世話になっております。

犬丸 これは有光次郎前日本芸術院長からバトンを受け継いだもので、その前は高橋誠一郎先生でした。

西川 晩年の高橋先生はよく劇場でお見かけいたしました。

犬丸 非常に伝統芸術に造詣の深い方で、私が国立劇場の理事長だった時分も頻繁に大劇場や小劇場にいらしていました。

西川 よく前の方でご覧になっていらっしゃいました。

犬丸 私は旧文部省出身で最後には文化庁長官を務めさせていただきましたが、その後国立劇場、日本芸術院と非常に文化に関係のある立場に巡り合うことになりました。さらに日本舞踊協会の会長までさせていただくとは思っていませんでした。

西川 そういえば文部科学省は虎ノ門から東京駅の方へ引っ越されましたね。

犬丸 虎ノ門の建物は余りにも老朽化していますので、仕方ないのでしょうか。中央省庁の独立した建造物の中では最も古いのではないのでしょうか。

西川 確かに仰る通りで、古色蒼然としていました。

犬丸 しかし外観を含めて一部分は文化財として残すことになっています。あのような剛構造の建築はやはり貴重なのでしょうか。

- 西川 そういえばあのような風格のある建物  
もしばらく前までは、官庁街や日本橋の  
辺りに随分と点在していましたが、めっ  
きり減ってしまいました。
- 犬丸 私は戦後間もなく入省しまして、当時は  
虎ノ門界限は焼け野原で何もありません  
でした。暖房も冷房もなく冬場は余り  
寒いので火鉢を持ち込んで仕事をして  
いました。
- 西川 大変な時代でしたね。ところで院長の後  
輩の歴代文化庁長官には、財団法人日本  
舞踊振興財団の設立来いろいろとお世  
話になっております。
- 犬丸 財団ができたのが確か平成2年でした  
ね。何かとご苦労なさっていらっしゃる  
のを関係者から伺っております。
- 西川 恐れ入ります。最近では文部科学大臣に  
なられた遠山敦子氏が長官の折には頻  
繁に訪問させていただきました。
- 犬丸 あの方は大変優秀な方でして、教育・文  
化の専門分野だけにとどまらず、国際的  
な視野も持っていらっしゃいます。
- 西川 そうでいらっしゃいますね。現在の学校  
教育に邦楽を取り入れていただいたの  
も遠山氏のご尽力があったのではない  
かと思っています。
- 犬丸 近代の日本の音楽教育は西洋のドレミ  
ファから入りましたから、純日本音楽が  
後回しになってしまったのです。だから  
ピアノはOKだけれど、三味線は拒絶さ  
れてきました。
- 西川 漸く遅ればせながら国も伝統芸術と学  
校教育を平衡して考えるようになった  
わけですね。
- 犬丸 伝統芸術の分野は能にしても狂言にし  
ても、また日本舞踊もそうでしょうが、  
国が何もしてくれなかったのが家元制  
度が発達し、組織として存続が出来たの  
でしょうね。
- 西川 それは多分にあるでしょうね。
- 犬丸 はい、しかし考えようによっては西洋を  
含めた外国の文化を学んだからこそ、日  
本の大事な文化に気がついたというこ  
とかもしれません。
- 西川 なるほど。
- 犬丸 私も若い時分に米国に留学しておりま  
して、それなりに貴重な体験をしたと思  
っております。
- 西川 それは初めて伺います、いつ頃でいらっ  
しゃいますか。
- 犬丸 1951年、昭和26年ですから、29  
歳の時でした。
- 西川 その頃ですと、まだまだ今のように手軽  
に海外に行ける時代ではなかったでし  
ょうに。
- 犬丸 占領時代でしたから、パスポートやビザ  
にはOccupied Japanと書  
かれていましたし、飛行機は費用がかか  
るといので船で行きました。
- 西川 それはまた大変ですね。何日位かかるの  
でしょうか。
- 犬丸 12日間でしたでしょうか、それでも最  
短距離を行くんです。客船はハワイ経由  
で行きますが、軍用船ですからノンスト  
ップでした。
- 西川 軍用船とはまた物々しいですね。
- 犬丸 丁度朝鮮戦争の末期でGIたちが本国へ  
帰る船に便乗したわけです。だから食事  
も彼等と一緒にですから椅子なんかには  
座らずに立ち食いです。  
しかしそれでも当時日本では口にでき  
なかつたバターが自由に食べ放題ある  
というぐあいでしたから恵まれていま  
した。
- 西川 我々の世代にとって、戦中、戦後の食糧  
難の記憶は鮮烈ですね。確かにバターや  
マーガリンは日本ではなかったですね。
- 犬丸 ニューヨークに一年居たのですが、カー  
ネギーホールやメトロポリタン劇場で、  
クラシック音楽会やオペラに通ったも  
のです。
- 西川 それは素晴らしい。
- 犬丸 ユル・プリンナーのミュージカルも観ま  
したし、勉強はそっちのけで飛び回っ  
ていました。
- 西川 お若い時だからこそですね、そのような  
経験がお出来になったのも。
- 犬丸 そう思います。しかし困ったことは現地  
の人間から日本の文化のことを聞かれ  
たときでした。能や歌舞伎、それから禅  
のことなど尋ねられてしどろもどろで  
した。
- 西川 えてして外国の人が興味を抱く日本の  
文化は、日本人でも難解な専門的な題材

- が多いようです。私どもも海外で冷や汗を掻くようなことが良くあります。
- 犬丸** そんなこともありまして、帰国してから謡を習い始めました。
- 西川** 能は日本の伝統芸術のなかでも古くから存在するものですし、格式もありますから院長にはうってつけですね。
- 犬丸** それで段々病硬膏に入って、小鼓も習い、さらに仕舞のお稽古もしていただきました。しかし実際に習ってみると、なかなか奥が深いもので、未だにもがいております。
- 私が役所に居た頃は「文謡会」と称して謡の会がありました。
- 西川** 文部省の文に謡ですね。盛んだったのでですね。
- 犬丸** そうなんです。それも観世流と宝生流の二つがありました。しかしその会員も段々減ってきてしましまして、私がスカウト役をやりました。
- 西川** ご多忙の時期だったでしょうに、大変でしたね。
- 犬丸** 存続させなくてはいけないという使命感がありましたから。それで土曜日の午後に謡の稽古をしようと言って勧誘しました。
- 西川** しかし当時はまだ週休二日制ではなかったでしょう。
- 犬丸** ええ、土曜日は勤務しておりましたが半ドンでしたから、午後なら問題はないのです。
- それにしても何もないと人は寄ってきませんからビールとおつまみを用意して集めたんです。
- 西川** ご苦労なさいましたね。
- 犬丸** おかげで有望な新人も幾人か入会して続けられることができました。しかし趣味であるにせよ、伝統芸術に触れることは大事ですね。
- 日本舞踊は謡以上に昔からお子さんを中心に、市井一般に稽古事として浸透していましたから層が厚いのではないのでしょうか。
- 西川** しかし現代は習い事の種類がかなり多岐になりましたので安閑とはしてはいただけません。
- 犬丸** ピアノやバレエもあるし、何ととっても学習塾に通うお子さんが相当いますからね。
- 西川** 私どもの財団では設立来毎年二つの地方の小学校を訪問して「小学校日本舞踊鑑賞教室」を開催しています。
- 犬丸** 社団法人社日本舞踊協会が中学校を廻っていますから、財団は小学校ですか。
- 西川** 設立する時に、文化庁から協会の事業と抵触しないようにとの指導がございましたそれに沿って行っております。
- 犬丸** しかし漸く文化庁は、一昨年から文化部芸術文化課が「文化体験プログラム」、昨年から文化財部伝統文化課が「伝統文化こども教室」と、幼少時から日本の文化に接するべく相応に予算を捻出しています。
- 西川** うちの財団も当初から参画させていただき恩恵を受けております。この機会に一人でも多くの児童が様々な伝統文化に触れていただくことを願っています。
- 犬丸** ところで日本舞踊は伝統も格式もあり確固たる芸術として連綿と続いてきていますが、いっぽうで唯古典を守るだけでなく新しいことも執り入れていかなくてはならないのでしょうか。
- 西川** 仰る通りですね。先ほどの小学校訪問もそうですし、外国に度々行くのも何とかして日本舞踊を知ってもらいたいという思いからです。
- 犬丸** 攻めの姿勢ですね、必要なことだと思います。外国公演はご苦労も多いかと思いますが大いに日本舞踊を広めてください。
- 西川** はい、いろいろな国を訪問して様々な反響を得ておりますが、今後もさらに未知の国や都市で公演をしたいと思っております。
- 犬丸** 次回の外国公演はいつですか。
- 西川** 来年の3月にイギリスとフランスを企画しております。
- 犬丸** それでは色々ご準備で大変でしょう。成功をお祈りしております。
- 西川** 今日はお忙しいところありがとうございます。